



冬にはスキー授業もありました。



こととい

平成25年頃の写真です。「茶道教室」は20年以上継続して取り組んできました。体育祭後には保護者と一緒にジンギスカン！？

別海町立西春別中学校 学校だより 第11号 令和8年1月30日発行 発行責任者 校長 綾野 正巳

飛躍の年へ

西春別中学校長 綾野 正巳

【始業式・生徒たちへのメッセージ】

いよいよ、西春別中学校として迎える最後の3学期が始まりました。みなさんには、残りの学校生活を仲間とともに思いきり楽しみ、充実した時間にしてほしいと願っています。

さて、みなさん、今年の干支はわかりますか？ そうです、午年です。それもただの午年ではありません。**丙午(ひのえうま)**の年です。みなさん、丙の意味を知っていますか？ 十二支は知っていますよね。それと同じような暦として「**十干(じっかん)**」があります。

十干とは、甲(こう/きのえ)・乙(おつ/きのと)・丙(へい/ひのえ)・丁(てい/ひのと)・戊(ぼ/つちのえ)・己(き/つちのと)・庚(こう/かのえ)・辛(しん/かのと)・壬(じん/みずのえ)・癸(き/みずのと)の十種類です。

どこかで聞いたことはありませんか？ そう、「鬼滅の刃」の剣士の位で使われています。

午は古くから「勢いよく前に進む力」「思い切って踏み出す勇気」の象徴と言われています。迷ったときに立ち止まるよりも、まず一歩前へ進む性質がある生き物だとも言われています。

新しいことに挑戦するとき、「不安だな」「失敗したらどうしよう」と感じるのは、誰にとっても自然なことです。しかし、物事を始めるために大切なのは、完璧な準備よりも**“最初の一步を踏み出す勇気”**です。午年は挑戦する人に追い風が吹く年とも言われています。今年、みなさんの胸の中に芽生えた「やってみたい」という気持ちを大切に、勉強でも部活動でも、生活の中の小さなことでも、ぜひ前向きな**小さな一歩**を踏み出してほしいと思います。

ちなみに、今年はまだの午年ではありません。丙午の午年です。先ほど言った十干が「鬼滅の刃」の剣士の位に使われていることはお話ししましたが、剣士になったばかりは「みずのと」、一番上の剣士(柱)は「きのえ」。主人公の竈門炭治郎が「無限城」で鬼舞辻無惨(宿敵)を倒すときの位が「ひのえ」です。「丙(ひのえ)」は火や太陽を表す力強い象徴です。作者はそこまで物語の設定を考えていたようです。

何を言いたいかというと、今年は**“勢いとエネルギーに満ちた最強の午年”**なのです。

4月からは、1・2年生は上西春別中学校へ、3年生は高校へと、それぞれ新しい環境での生活が始まります。先生方も全員が異動し、新たな学校で仕事をするようになります。環境が変わることに不安を感じる人もいるでしょう。しかし、以前から話しているように、「**ピンチかチャンスかは、考え方次第**」です。大きく変わる年だからこそ、前向きに挑戦することで、自分を成長させるチャンスはより大きく広がります。今年が飛躍の年になるよう、ともに頑張りましょう。

最強の午(うま)年ですから、今年始めたことは、きつとうまくなります。

先日、1・2年生は上西春別中学校と合同でスケート授業を行いました。3学期は、生徒同士の交流がさらに深まり、子どもたちが希望をもって4月を迎えられるよう、教育活動を進めてまいります。残り3か月、保護者・地域の皆さまには、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。